

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月1日

事業所名 児童発達支援事業所 のびのび

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			利用者の状況や活動内容に合わせて間仕切りを使ったり、館内の別室を利用するなどの工夫をしています。	
	2	職員の配置数は適切である	○			施設基準を上回る職員数を配置しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			車椅子等でも移動しやすいように、段差のない構造になっています。文字の読めない子どもには、写真や絵で分かりやすいように伝達しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			休憩室は畳のお部屋で過ごしやすくなっており、他にベッドで過ごせるお部屋もあります。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			マニュアル等を整え、全職員が業務改善のための役割を果たすようにしています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者向け評価表の結果を参考にさせていただき、業務改善を図ります。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			今後も継続してホームページ上等での公開を行っていきます。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	第三者評価は実施していません。秋田県による実地指導、法人が行う内部監査等を通じて、業務の適正化に努めています。	次年度以降、第三者評価の実施を法人として計画しています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			内部研修・外部研修を通じて、専門知識や職業倫理の習得に努めています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			支援結果についてモニタリングを行い、定期的に検討して個別支援計画を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			法人で統一されたアセスメントシートに添って本人状況を確認し、計画立案に役立てています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			児童発達支援管理責任者を中心に話し合いながら活動プログラムを作っています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			計画に沿ったプログラムを作成し提供しています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			活動の様子を見てスタッフの意見を聞きながら作っています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			利用者さんの反応などを見ながら、活動プログラムを常に調整しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			本人の好みや成長課題を考えながら、個別活動と集団活動を組み合わせています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			業務開始前に打ち合わせを実施しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			出勤時間がシフト制のため、翌日の全職員が揃う時間に振り返りを実施し、結果について記録しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			業務日誌、個人(ケース)記録について適切な記録と検証に努めています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			支援結果についてモニタリングを行い、定期的に検討して個別支援計画の見直しを行っています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			相談支援事業所と連携し、児童発達支援管理責任者等が参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			随時情報の交換をしているほか、必要に応じて直接面談して情報交換の機会を設けるなどしています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			本年度利用がありませんでしたが、受け入れ時には県医療療育センターや市の障害福祉等と情報の交換をしています。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			本年度は利用がありませんでしたが、受け入れ時には保護者から詳細な情報提供を受けるほか、施設の看護師等とも連携して安全な受け入れに努めます。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			利用している保育所や療育センター等と情報交換を図っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			必要に応じて、保護者等の了解を得たうえで他事業所への情報提供などを行っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			県医療療育センターで実施する研修に職員を派遣する等しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			活動の一環として地域の児童館や公園などで遊ぶ機会を設けています。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			同一施設内にある相談支援事業所等が各種協議会等に参加しており、必要に応じて情報交換ができる体制を整えています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			日々の連絡帳の利用の他、お迎えの際にも状況等をお伝えするようにしています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			家庭状況等について確認しながら、必要に応じて助言等を行っています。次年度以降ペアレント・トレーニング講座の実施を検討しています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			利用開始時に、重要事項説明書等を用いた説明を行っています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			保護者の意向や要望をとり入れた支援計画を作成し、丁寧に説明し、同意をもらっています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			家庭での状況等について確認しながら、必要に応じて助言等を行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在父母の会活動は行っていません。家族も参加する行事を企画していきます。	プライバシーの保護や感染症対策に配慮しながら、交流機会について検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情受付体制を整備し、迅速に対応できる体制を整えています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			毎月、お便りを発行し、活動の様子等を伝えるとともに、感染症予防に対することなどの情報提供に努めています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			法人で定めた個人情報保護規程に基づき、適切に取り扱っています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			法人内の支援アドバイザーへの相談や助言を参考にご家族からの相談へも対応し、障がい特性に着目した支援に努めています。	
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			実習生やボランティアの受け入れや視察や見学等の受け入れも実施している。	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			緊急時対応マニュアル等は整備し、職員に周知しています。保護者には、感染症流行期等に随時お知らせをしています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			定期的に避難訓練を実施しています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			家庭から定期通院等の状況や、服薬状況等の情報を交換しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			利用時に保護者からアレルギー等について確認し、必要に応じてアレルギー検査結果等の提供を受けています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハット事例については全支援職員で共有し、防止策の策定と検証を行っています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待防止対策委員会を設置し、虐待防止のためのチェックリストの活用や、第三者委員へ報告を実施しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			今までのところ事例はありませんが、やむを得ず身体拘束を行う場合の手順等を定めており、厳格に運用しています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。